

JOYO BANK NEWS LETTER

2022 年9月16日

住友化学株式会社向けシンジケーション形式の トランジション・ローンへの参加について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、このたび、住友化学株式会社（代表取締役社長 岩田 圭一、以下、「住友化学」）を借入人とする、トランジション・ローン（以下、「本ローン」）に参加しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

トランジション・ローンは、カーボンニュートラルの実現に向けて、長期的な戦略に則った温室効果ガス削減の取り組みを行う企業に対し、その取り組みを支援することを目的とした金融手法です。

本ローンで調達する資金は、住友化学の千葉工場（千葉県市原市）構内において、高効率なガスタービン発電設備の建設費用に充当されます。

当行およびめぶきフィナンシャルグループは、「地域とともにあゆむ価値創造グループ」を長期ビジョンとして掲げ、持続可能な地域社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする地域の全てのステークホルダーの皆さまの課題に寄り添い、ともにあゆみ解決することで、新たな価値を創り続けてまいります。

記

1. 本ローンの概要

借入人	住友化学
実行金額	100 億円
期間	10 年
契約締結日	2022 年 9 月 13 日（火）
アレンジャー	株式会社三井住友銀行
貸付人	常陽銀行ほか 10 社

2. 住友化学の企業概要

住友化学は、1913 年、愛媛県新居浜の別子銅山で銅製錬の際に生じる亜硫酸ガスの煙害を解決し、その亜硫酸ガスから肥料を製造することにより環境問題の克服と食糧増産への貢献を目的に設立されました。その設立経緯に通じる、「自社の利益のみを追わず、事業を通じて広く社会に貢献する」という理念のもと、時代の変遷にあわせて事業の変革を遂げています。

現在、住友化学グループは、エッセンシャルケミカルズ、エネルギー・機能材料、情報電子化学、健康・農業関連事業、医薬品の 5 事業分野にわたり、幅広い産業や人々の暮らしを支える製品をグローバルに供給しています。

住友化学グループでは、これまで培った技術を生かして、資源、エネルギー、食糧、環境など国際社会が抱える課題解決に貢献していくことを目指しています。

<ご参考>

住友化学によるリリース：「経済産業省のモデル事例として化学分野で初選定～GHG 排出削減に向けたトランジション・ローン～」

以上



常陽銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

常陽銀行

〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5

Tel. 029-231-2151(代表) www.joyobank.co.jp